

伊豆長岡温泉の再生に向けた地域資源調査

静岡文化芸術大学デザイン学部

指導教員：黒田宏治、佐井国夫

参加学生：大坪史明、熊王菜那子、小牧かな

鈴木彩加、鈴木友香、林優歩

1. 要約

伊豆の国市、関係団体との連携・交流のもと、デザイン系学生による地域資源の調査・評価等を行い、伊豆の国温泉観光の新たな可能性を企画・検討する。若年層をターゲットにした特産品、体験、広報・プロモーションなどを視野に入れる。

2. 研究の目的

伊豆長岡温泉地域の観光事業活性化のため、現地調査を経てゼミ学生6人がそれぞれ問題抽出し提案する。若者が伊豆長岡温泉に興味を持つためには何が必要か、どうすれば良いか検討する。

3. 研究の内容

- (1)ゼミ学生チーム（ターゲット層と同年代）による現地調査（観察・取材等）を通じた伊豆長岡温泉の地域観光の問題抽出及び隠れた地域資源の掘り起こし。
- (2)ゼミ学生チームによる参考事例（県内外）検討、グループ討議等による問題分析を踏まえて掘り起こした地域資源の活用・加工や組み合わせなどのアイデア展開。
- (3)調査分析・アイデア展開を踏まえた特産品（パッケージ等含む）、温泉街体験、広報・情報ツール、プロモーション活動等のビジュアルデザインなどの企画制作を行う。ゼミ学生個々の発想を生かし今回研究ではいくつかの方向性提示を目指したい。

4. 研究の成果(+ 地域への提言)

次頁以降 01～06 参照

5. 地域からの提言

2020年1月22日伊豆の国市あやめ会館にて「伊豆長岡温泉の再生に向けた地域資源調査」学生調査報告会を行った。現地の観光課や旅館の方20名ほどが参加した。報告会では「すぐにでも商品化したい。」「デザインの力が素晴らしい。」などの好評をいただいた。

01 【「伊豆長岡温泉 湯ったりきっぷ」の改善案】

デザイン学部3年 大坪史明

伊豆箱根鉄道グループの販売している「伊豆長岡温泉 湯ったりきっぷ」の改善案を、仕組みづくりと広報の面から提案。まずは、ポスターやリーフレット等の広報物の強化をし、知ってもらうことが第一歩になる。また、ターゲットを「日帰り温泉旅の観光客」と明確にすることで、現在のサービスから変更、追加することで、より魅力的な企画となる。日帰り客を増やすことで、今後の宿泊客になるきっかけにも繋がる。



02 【「まゆ玉」を使ったフォトスポットの提案】

デザイン学部3年 熊王菜那子

観光中に写真を撮りたくなる場所が少ないと感じた。そこで伊豆長岡の「まゆ玉」を特有の資源と考え、まゆ玉のフォトスポットを提案する。「和×レトロ×ポップな非日常」をコンセプトとして、「まゆ玉の里」のロゴマークとフォトスポットの模型を制作した。フォトスポットを季節展開させることにより、年間を通して観光客を飽きさせない工夫をする。また、いくつも同じものが吊るされる中でひとつだけ異なるまゆ玉をいれて「間違い探し」が出来る。写真がSNSに投稿されることにより、広告効果を期待する。



03【芸妓さんを身近な存在にするカフェの提案】

デザイン学部3年 小牧かな

全国で京都と伊豆長岡にしかない希少な芸妓学校があることや芸妓さんが身近な存在でないことが勿体無いと感じた。そこで私はもっと沢山の人に伊豆長岡の芸妓さんや芸妓学校を知ってもらうため、芸妓学校前にカフェを開き芸妓さんが接客などをするにより芸妓さんが身近な存在だと感じてもらいたいと思った。私はそこでお店のブランディングデザインをした。カフェのパッケージや商品を芸妓さんに関するイラストにすることでより親しんでもらうようにした。



04【「きらび香」を使ったお菓子ブランド提案】

デザイン学部3年 鈴木彩加

「きらび香」を使ったお菓子等を「伊豆のぼせいちご」としてブランド化する。伊豆長岡温泉を訪れる若者の数が減っていることから、若者をターゲットとしたブランドを作ることで、若者の目に止まりやすく、認知度を上げる狙い。そして実際伊豆長岡を訪れた方を癒すような目的。お土産に買っていきたい、SNSに載せたいようになるようにデザインした。静岡県オリジナル品種いちご「きらび香」を使用することで静岡・伊豆長岡に親しみや地域限定の特別感を持ってもらう。



05【福狸亭小川家の新しいビジュアルデザイン】

デザイン学部3年 鈴木友香

コンセプト「福狸亭小川家を知ること温泉地域の魅力に気づく」をもとに現地調査の際、実際に泊まらせていただいた旅館福狸亭小川家の魅力をもっと伝えるための提案。小川家の魅力を伝えるだけでなく、宿のオリジナル商品を地域の販売店で販売する・旅館のオリジナルキャラクターを作成し地域の名所などをそのキャラクターとともに紹介するイラストなどを作成することにより、小川家に訪れた人が宿の外にも興味を待ってくれるようなデザインを目指した。



06【伊豆長岡温泉まゆ玉スタンプラリー】

デザイン学部3年 林優歩

宿泊客が旅館内の温泉や料理だけで観光を楽しみ終わってしまい、あまり外に出ない傾向があるという背景から、伊豆長岡温泉の魅力を多くの人に伝えるための、街を歩くきっかけになる「伊豆長岡温泉まゆ玉スタンプラリー」を制作した。台紙に描かれているイラストに合わせてスタンプを押していくことでそれぞれオリジナルまゆ玉飾りができる仕組みや、木版風のイラストを使用したデザイン性さで、飾りたくなるスタンプラリーを目指した。

